

平成23年8月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年4月12日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 ワッツ

コード番号 2735 URL <http://www.watts-jp.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 平岡 史生

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画室長 (氏名) 山本 喜一郎

TEL 06-4792-3280

四半期報告書提出予定日 平成23年4月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年8月期第2四半期の連結業績(平成22年9月1日～平成23年2月28日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年8月期第2四半期	18,408	7.8	775	9.6	950	17.1	471	18.7
22年8月期第2四半期	17,073	5.5	707	37.5	811	61.3	397	17.9

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年8月期第2四半期	75.93	74.72
22年8月期第2四半期	64.15	62.89

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%		円 銭	%
23年8月期第2四半期	12,836		4,230		32.9	680.85	
22年8月期	11,962		3,916		32.6	629.43	

(参考) 自己資本 23年8月期第2四半期 4,222百万円 22年8月期 3,902百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年8月期	—	0.00	—	20.00	20.00
23年8月期	—	0.00	—	—	—
23年8月期(予想)	—	—	—	20.00	20.00

(注)当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年8月期の連結業績予想(平成22年9月1日～平成23年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	36,100	4.2	1,450	9.4	1,600	3.7	740	1.8	119.37

(注)当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、[添付資料]P. 3「2. その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無
新規 ー社（社名 ）、除外 ー社（社名 ）、
(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 無
(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
① 会計基準等の改正に伴う変更 有
② ①以外の変更 無
(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数(普通株式)
① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 23年8月期2Q 6,979,400株 22年8月期 6,979,400株
② 期末自己株式数 23年8月期2Q 777,151株 22年8月期 780,090株
③ 期中平均株式数(四半期累計) 23年8月期2Q 6,215,626株 22年8月期2Q 6,199,400株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、[添付資料]P. 3「1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	3
会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
(第2四半期連結累計期間)	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) セグメント情報	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、円高や政府の個人消費刺激策の縮小により、先行きに不透明感の漂う展開で始まりましたが、当第2四半期連結累計期間の後半には外需主導により景気の足踏み状態からの脱却が確認されはじめました。しかし、中東・北アフリカの政治情勢の緊迫化が、原油価格の高騰を招き、他の原材料費の上昇と併せ、景気の先行きのかく乱要因になっています。国内の消費動向は、予想通り小売販売額が前期からの反落を見たものの、後半には穏やかな回復を示すようになりました。他方、世界的な食料や原油価格上昇に伴う経済の先行き懸念が、消費者心理を冷やす恐れも出てきました。このような環境下で当社は、お買い得感のある商品群を展開するという商品政策と、ローコスト出退店およびローコストオペレーションという店舗政策を継続して実施しています。

当第2四半期連結累計期間における100円ショップ店舗の出店数は、直営店舗が52店舗、FC店舗他が3店舗、閉鎖店舗数は直営店舗が26店舗、FC店舗他が28店舗で、当第2四半期連結会計期間末のグループ店舗数は、100円ショップ以外の店舗を含め823店舗となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は184億8百万円（前年同期比7.8%増）、営業利益は7億75百万円（同9.6%増）、経常利益は9億50百万円（同17.1%増）、四半期純利益は4億71百万円（同18.7%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、128億36百万円となり、前連結会計年度末に比べ、8億73百万円の増加となりました。その内訳は、資産の部では、流動資産は92億6百万円（同7億79百万円増）、固定資産は36億29百万円（同93百万円増）であります。負債の部では、流動負債は67億85百万円（同40百万円減）、固定負債は18億19百万円（同6億0百万円増）であります。

資産の増加は、主として、新規出店に伴い、現金及び預金が前連結会計年度末に比べ5億27百万円増加し、受取手形及び売掛金が前連結会計年度末に比べ60百万円増加したことによるものであります。

負債の増加は、主として、長期借入金が前連結会計年度末に比べ5億6百万円増加したことによるものであります。

純資産の部の合計は、42億30百万円となり、前連結会計年度末に比べ、3億13百万円の増加となりました。その主な要因は、利益剰余金が前連結会計年度末に比べ3億43百万円増加したことによるものであります。

なお、自己資本比率は32.9%となり、前連結会計年度末に比べ、0.3%の増加となりました。1株当たり純資産は680円85銭であります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という）の残高は、前連結会計年度末に比べ5億27百万円増加し25億65百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの増減要因は以下のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、獲得した資金は、6億42百万円（前年同期は15億26百万円の獲得）となりました。収入の主な内訳は、税金等調整前四半期純利益9億18百万円、売上債権の減少額2億18百万円、仕入債務の増加額2億2百万円、減価償却費1億7百万円であります。支出の主な内訳は、法人税等の支払額7億54百万円、未払消費税等の減少額81百万円、たな卸資産の増加額58百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は4億16百万円（前年同期は2億33百万円の使用）となりました。この内訳は、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出3億81百万円、有形固定資産の取得による支出1億26百万円、新規出店のための敷金及び保証金の差入による支出1億6百万円、店舗閉鎖による敷金及び保証金の回収による収入1億74百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、獲得した資金は3億2百万円（前年同期は1億81百万円の獲得）となりました。この内訳は、長期借入金の返済による支出7億43百万円、配当金の支払額1億23百万円、長期借入れによる収入15億円等によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年3月11日に発生しました東北地方太平洋沖地震は、当社の経営成績に重要な影響を与える可能性があります。現在までのところ、当社グループへの人的・物的被害は事業遂行に支障をきたす状況ではありませんが、この地震は、回復の兆しが見え始めた個人消費の腰折れ要因というだけでなく、計画停電の影響や原子力発電所事故の収拾の行方など、未体験の規模のかく乱要因を発生させました。このような異常事態の中では、現段階で売上動向等の合理的な算定が困難であります。今後業況の推移を注視し、昨年10月に公表しました業績予想値の修正が見込まれる場合には、速やかにお知らせいたします。

2. その他の情報

会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

1. 資産除去債務に関する会計基準の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これにより、当第2四半期連結累計期間の営業利益及び経常利益は2,525千円、税金等調整前四半期純利益は49,519千円それぞれ減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は65,914千円であります。

2. 表示方法の変更

「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成20年12月26日）に基づく「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」（平成21年3月24日 内閣府令第5号）の適用により、当第2四半期連結累計期間及び等第2四半期連結会計期間では、それぞれ「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目で表示しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成23年2月28日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,565,037	2,037,909
受取手形及び売掛金	1,754,961	1,694,143
商品及び製品	4,266,467	4,032,362
原材料及び貯蔵品	7,190	9,222
繰延税金資産	242,213	347,539
その他	390,652	330,867
貸倒引当金	△20,049	△25,094
流動資産合計	9,206,473	8,426,950
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	719,619	682,676
減価償却累計額及び減損損失累計額	△474,399	△478,417
建物及び構築物(純額)	245,220	204,258
車両運搬具	13,151	6,427
減価償却累計額及び減損損失累計額	△10,661	△3,812
車両運搬具(純額)	2,490	2,615
工具、器具及び備品	1,996,143	1,865,610
減価償却累計額及び減損損失累計額	△1,516,896	△1,408,557
工具、器具及び備品(純額)	479,246	457,052
土地	80,600	80,600
有形固定資産合計	807,557	744,527
無形固定資産		
のれん	156,105	234,157
その他	29,973	29,033
無形固定資産合計	186,078	263,190
投資その他の資産		
投資有価証券	74,934	65,128
繰延税金資産	40,032	22,047
差入保証金	2,447,353	2,366,007
その他	106,117	104,809
貸倒引当金	△32,443	△29,851
投資その他の資産合計	2,635,993	2,528,141
固定資産合計	3,629,630	3,535,859
資産合計	12,836,103	11,962,809

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成23年2月28日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年8月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,094,704	3,870,641
短期借入金	140,000	140,000
1年内償還予定の社債	40,000	180,000
1年内返済予定の長期借入金	1,416,359	1,160,189
未払法人税等	406,769	759,187
未払消費税等	23,524	25,834
賞与引当金	138,123	108,950
その他	526,455	581,686
流動負債合計	6,785,937	6,826,489
固定負債		
長期借入金	1,379,893	873,739
退職給付引当金	80,964	74,546
役員退職慰労引当金	83,382	68,553
資産除去債務	78,580	—
その他	196,981	202,556
固定負債合計	1,819,802	1,219,394
負債合計	8,605,739	8,045,884
純資産の部		
株主資本		
資本金	440,297	440,297
資本剰余金	876,066	876,066
利益剰余金	3,223,570	2,879,995
自己株式	△318,138	△291,374
株主資本合計	4,221,796	3,904,985
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	418	△4,907
為替換算調整勘定	596	1,932
評価・換算差額等合計	1,015	△2,975
新株予約権	7,552	14,914
純資産合計	4,230,363	3,916,924
負債純資産合計	12,836,103	11,962,809

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年9月1日 至平成22年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年9月1日 至平成23年2月28日)
売上高	17,073,420	18,408,324
売上原価	10,714,005	11,441,188
売上総利益	6,359,415	6,967,136
販売費及び一般管理費	5,651,614	6,191,738
営業利益	707,800	775,397
営業外収益		
受取賃貸料	14,546	10,131
消費税等免税益	110,020	—
還付消費税等	—	201,013
その他	24,190	5,092
営業外収益合計	148,756	216,237
営業外費用		
支払利息	18,351	14,730
退店違約金	14,645	4,133
持分法による投資損失	—	13,215
その他	11,680	8,565
営業外費用合計	44,677	40,645
経常利益	811,879	950,989
特別利益		
投資有価証券売却益	—	8,243
貸倒引当金戻入額	1,535	6,747
その他	273	7,586
特別利益合計	1,809	22,577
特別損失		
固定資産除却損	2,108	871
固定資産売却損	1,209	—
減損損失	27,075	6,933
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	46,994
その他	—	312
特別損失合計	30,393	55,111
税金等調整前四半期純利益	783,296	918,455
法人税、住民税及び事業税	512,926	362,257
法人税等調整額	△127,347	84,260
法人税等合計	385,578	446,517
少数株主損益調整前四半期純利益	—	471,937
四半期純利益	397,717	471,937

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成21年9月1日 至 平成22年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成22年9月1日 至 平成23年2月28日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	783,296	918,455
減価償却費	98,632	107,760
減損損失	27,075	6,933
負ののれん償却額	△3,021	—
のれん償却額	78,052	104,019
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,535	△7,003
賞与引当金の増減額(△は減少)	△12,237	8,824
退職給付引当金の増減額(△は減少)	15,482	6,417
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	3,846	329
受取利息及び受取配当金	△2,805	△1,983
支払利息	18,351	14,730
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	46,994
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△8,243
固定資産除却損	2,108	871
売上債権の増減額(△は増加)	△79,795	218,283
たな卸資産の増減額(△は増加)	△354,746	△58,396
仕入債務の増減額(△は減少)	1,066,821	202,277
未払消費税等の増減額(△は減少)	△55,135	△81,723
その他	44,798	△68,300
小計	1,629,188	1,410,248
利息及び配当金の受取額	2,712	1,695
利息の支払額	△19,197	△15,099
法人税等の支払額	△85,926	△754,360
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,526,776	642,483
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△145,375	△126,480
有形固定資産の売却による収入	745	13,759
敷金及び保証金の差入による支出	△143,302	△106,331
敷金及び保証金の回収による収入	62,338	174,341
投資有価証券の取得による支出	△4,500	—
投資有価証券の売却による収入	—	11,243
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△381,276
その他	△3,182	△1,905
投資活動によるキャッシュ・フロー	△233,275	△416,648
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	—	△150,000
長期借入れによる収入	850,000	1,500,000
長期借入金の返済による支出	△566,168	△743,178
社債の償還による支出	△40,000	△140,000
自己株式の売却による収入	—	45,414
自己株式の取得による支出	—	△86,046
配当金の支払額	△61,994	△123,986
財務活動によるキャッシュ・フロー	181,838	302,203
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,906	△910
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,473,431	527,127
現金及び現金同等物の期首残高	1,336,369	2,037,909
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,809,801	2,565,037

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

当第2四半期連結累計期間(自平成22年9月1日至平成23年2月28日)

100円ショップの運営及びその付随業務の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。